

日本電子専門学校×クレセント



左から、CG映像制作科 科長 永井紀雄氏、CG映像制作科 浦 正樹氏

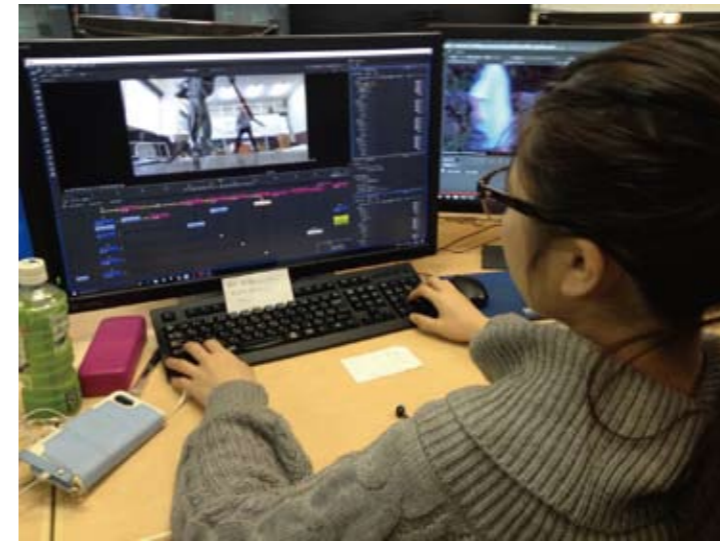
学校法人電子学園 日本電子専門学校(東京都新宿区)は1951年の創立より68年、常に産業界がもとめる教育を展開し、人材を輩出し続けてきた伝統を持っている。2020年4月には、東京都墨田区に世界を牽引するICT人材を育成する高等教育機関「i専門職大学(仮称)」を開学する(構想中)。CGの分野にもいち早く着手し、これまで数多くのクリエイターを排出してきた。

同校のCG映像制作科では2年制のカリキュラムによりVFX制作技術を学ぶことができる。3DCGだけでなく、実写映像の撮影・合成・編集などを通して映像作品を作りあげていくのが特徴だ。CG・映像制作に必要なソフトが完備されたコンピュータ教室や最新の機材、ツールを活用した実習により幅広い映像表現を体験することができる。学外との連携により、在学中より制作に関わる機会が多数あり、卒業生はVFXクリエイターやCGデザイナー、コンポジットャーとして業界において数多く活躍している。

同校のCG映像制作科の浦 正樹氏に同校のCGの授業内容や昨今の学生のニーズ、日本電子専門学校が導入したクレセントの商材「ポッキリ900 fortissimo」等について取材した。



学生作品



■ 学生のニーズについて

「私自身、昨今驚いているのがVRやVTuberなどリアルタイムのCG映像の盛り上がりですね。VRやVTuberを育成したり、サポートしたりする会社に就職する学生も増えてきております。これまでの卒業生もそういった案件にどんどん関わるようになってきているようで、そういった傾向を見ると、今までのCG映像だけでなく、新しいCGの取り組みについても、様々な検討をしていかなければいけないのかなと思っています。根本的にはCGのことを理解していないと理解できないことですから、これまでのそこ(CGの基本となる部分)のスタンスは変えずにそういったVRやVTuber等のリアルタイムのCG分野からプロジェクションマッピングや360度のCG映像制作など幅広く応用がきくような学生を育てていきたいですね」

■ 授業に関して

「CG分野の授業に対しては学生のニーズに応じて、UnityやUnreal Engineを導入するなどの試みをしています。そのような試みはやはり学生からの評判も良く、他学科の学生から授業のカリキュラムに入っていないくても、VTuberのようなリアルタイムライブをやりたいという要望から授業でやってほしいといった声があがるほどでした。そういったニーズのある学生には放課後に課外授業としておこなったりもしています。そのような経験を通して、モーションキャプチャのライブ映像のしくみを学ぶ場を学生に提供できればいいと思っています」

■ ポッキリ900 fortissimoについて

「そういったこれまでの取り組みのこともあり、VICONの新しいソフトウェアであるShogunはUnityやUnreal Engineと親和性が高いということもあり楽しみにしておりました。そんな時、機材のリプレースの話がありまして、ポッキリ900 fortissimoの導入に至りました。来年度からShogunを使用して授業内容もそれにそったものにしていこうと思っております。秋くらいからはUnreal Engineとリンクしたライブで動かすといった授業内容を学生に見せられればと思っています。実際に見ることによってこれから広まる新しいCG映像の制作過程もよく理解できるようになってくると考えています」



学校法人電子学園
日本電子専門学校

学校法人電子学園 日本電子専門学校
〒169-8522 東京都新宿区百人町1-25-4
フリーダイヤル:0120-00-9691
TEL:03-3363-7761(代表)
FAX:03-3363-7685